

「ひまわり」

志賀野地区公民館に連絡物を届けに行った時の事です。「鶴の嶽」を抜けて西野にさしかかると右手に小さな橋があります。橋の近くの休耕田に「ひまわり」がびっしりと植えられ立派な花が咲いていました。運転席からはほとんど気づかない風景ですが、「なんで、こんなところに？」と不思議に思いました。中央公民館に帰ってその話をすると、「未来 de 志賀野」の方が育てていて、「大川小学校のひまわり」と教えてくれました。



2011 年 3 月 11 日、宮城県石巻市立大川小学校では、児童 108 人のうち 74 人が津波の犠牲者となりました。お母さんたちは子どもたちに思いをはせ、学校の近くの三角地帯にひまわりの苗を植えました。その後、その種が譲り受けられ、和歌山県内でも学校や公民館で育てられました。その一つが志賀野のひまわり畑です。残念ながら 2 度の水害でつかってしまい、現在はその遺志を繋ぐ思いで育てているということでした。

ひまわりを植えた 8 人のお母さんの思いは、『ひまわりのおか』という絵本になりました。この絵本は、中央公民館の図書室にあります。



石巻市立大川小学校の脇を北上川が流れ、3.8km先の太平洋に注いでいます。高さ約 10m の津波は円形の校舎の 2 階まで押し寄せています。校舎の海拔は 1m 12cm でした。2018 年 2 月に訪れた際には、裏山に、うっすらと雪が残っていました。校庭には卒業記念で制作した歴年の壁画があり、宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』の絵がさびしそうでした。



2022 年 8 月 11 日、テレビでは映画「ひまわり」が放映されていました。1970 年イタリアのピットリオ・デ・シーカ監督の作品で、ウクライナの夏の日の強い日差しをはね返すように咲いている大輪のひまわりを背に、あてもなく重い足を引きずって歩いているソフィア・ローレンが印象的でした。今年は「ひまわり」につ

いて考えさせられることが多い夏です。

(2022 年：令和 4 年 8 月 13 日)